

讚妙光菩薩 汝為世間眼 能奉持法藏 唯汝能證知 令妙光歡喜 滿六十小劫 不起於此座 是妙光法師 佛說是法華 尋即於是日 諸法實相義 我今於中夜 汝一心精進 諸佛甚難值 世尊諸子等 各各懷悲惱 聖主法之王 我若滅度時 是德藏菩薩 心已得通達 號曰為淨身 佛此夜滅度 分布諸舍利 比丘比丘尼 倍復加精進 是妙光法師 八十小劫中 是諸八王子 堅固無上道 供養諸佛已 隨順行大道

相繼得成佛 轉次而授記 最後天中天 諸仙之導師 是妙光法師 心常懷懈怠 求名利無厭 棄捨所習誦 以是因緣故 亦行衆善業 供養於諸佛 具六波羅蜜 其後當作佛 廣度諸衆生 彼佛滅度後 妙光法師者 我見燈明佛 以是知今佛 今相如本瑞 今佛放光明 諸人今當知 佛當雨法雨 諸求三乘人 佛當爲除斷 令盡無有餘

宜所說意趣難解 舍利弗 吾從成佛已 來種種因緣 種種譬喻 廣演言教 無數方便 引導衆生 令離諸著 所以者何 如來方便 便知見波羅蜜 皆已具足 舍利弗 如來知 見廣大深遠 無量無礙 力無所畏 禪定解脫 三昧 深入無際 成就一切未曾有法 舍利弗 如來能種種分別巧說諸法 言辭柔軟 悅可衆心 舍利弗 取要言之 無量無邊 未曾有法 佛悉成就 止舍利弗 不須復說 所以者何 佛所成就第一希有難解之法 唯 佛與佛乃能究盡諸法實相 所謂諸法如是 相如是性 如是體 如是力 如是作 如是因 如是緣 如是果 如是報 如是本末究竟等 爾時世尊 欲重宣此義 而說偈言

①已二以 ②授二受 ③懷二壞 ④姓二性 ⑤實相義 Dharmasvabhāvamudrā. ⑥2. Upāyakaūsalya; [妙法蓮華經] ⑦詳二詳 ⑧已二以 ⑨說諸二諸說 ⑩(是)一佛

如是諸人等 其力所不堪 假使滿世間 皆如舍利弗 盡思共度量 不能測佛智 正使滿十方 亦滿十方刹 及餘諸弟子 亦復不能知 盡思共度量 無漏最後身 辟支佛利智 其數如竹林 亦滿十方界 於億無量劫 斯等共一心 莫能知少分 欲思佛實智 供養無數佛 新發意菩薩 又能善說法 了達諸義趣 充滿十方刹 如稻麻竹葦 於恒河沙劫 一心以妙智 不能知佛智 咸皆共思量 其數如恒沙 不退諸菩薩 亦復不能知 一心共思求 無漏不思議 又告舍利弗 我今已具得 甚深微妙法 十方佛亦然 唯我知是相 諸佛語無異 舍利弗當知 當生大信力 於佛所說法 要當說真實 世尊法久後 及求緣覺乘 告諸聲聞衆 逮得涅槃者 我令脫苦縛 示以三乘教 佛以方便力 引之令得出 衆生處處著 爾時大衆中 有諸聲聞漏盡阿羅漢阿若憍 陳如等千二百人 及發聲聞辟支佛心比丘

比丘尼優婆塞優婆夷 各作是念 今者世尊 何故慰勸稱歎方便 而作是言 佛所得法甚深難解 有所言說 意趣難知 一切聲聞辟支佛所不能及 佛說一解脫義 我等亦得此法 到於涅槃 而今不知是義所趣 爾時舍利弗知四衆心疑 自亦未了 而白佛言 世尊 何因何緣 慰勸稱歎諸佛第一方便 甚深微妙難解之法 我自昔來未曾從佛聞如是說 今者四衆咸皆有疑 唯願世尊 敷演斯事 世尊何故慰勸稱歎甚深微妙難解之法 爾時舍利弗欲重宣此義 而說偈言

慧日大聖尊 久乃說是法 自說得如是 力無畏三昧 禪定解脫等 不可思議法 道場所得法 無能發問者 我意難可測 亦無能問者 無問而自說 稱歎所行道 智慧甚微妙 諸佛之所得 無漏諸羅漢 及求涅槃者 今皆墮疑網 佛何故說是 其求緣覺者 比丘比丘尼 諸天龍鬼神 及乾闥婆等 相視懷猶豫 瞻仰兩足尊 是事爲云何 願佛爲解說 於諸聲聞衆 佛說我第一 我今自於智 疑惑不能了 爲是究竟法 爲是所行道

①得二德 ②以二已 ③示以二是已 ④唯二推 ⑤敬二深 ⑥(上)一 ⑦垂二誰 ⑧曾二畢 ⑨明註日世世南北藏俱 作出世

そのとき、お釈迦さまは、思念十分に、涙を流し、瞑想より、目覚められたのでありました。

目覚められ、先達、舍利弗に語りかけられるのでありました。「舍利弗よ。如来・勝れた人・正しくあますところなくさとつた人によってさとられた、仏陀の智慧は、深遠にして、巡りあい難く、さとりに難い。声聞、独覚たちの中には、一人として判る者はいない。

それは、どういう理由か。

あまたの、数知れぬ仏陀たちに仕えた、実に、舍利弗よ。

如来・勝れた人・正しくあますところなくさとつた人は、あま

たの、数知れぬ仏陀のもとで修行した者であり、無上のさとりを目ざして、永い歲月、歩を進め、力を尽くしてきた者である。未だ眼にしたこともない不思議な法を具えており、判り難い法を具えており、判り難い法が判ってしまった者なのである。

舍利弗よ。

如来・勝れた人・正しくあますところなくさとつた人・仏陀たちの、意図を秘めた説くところは、判り得ようはずがない。

それは、何故か。

もろもろの仏たちは、自らさとつた、もろもろの法を、解き明かす。さまざまな巧みな教化の方法、すなわち智慧、見解、事例、

説き方、論拠、言葉、言いまわしを意のままに使いこなして。

それやこれやの、すぐれて巧みな方法を駆使して、あれやこれやに縛られている、生きとし生けるものたちを、解き放つのである。

舍利弗よ。

如来・勝れた人・正しくあますところなくさとつた人びとは、偉大なすぐれて巧みな方法と、智慧と見解とにおいて、それ以上はないという極致に達した人びとである。

自在にして闊達な智慧と見解とを具えており、智慧の力、確固たる信念、強靱な精神、心の働き、心の力、目覚めた者の特性が

具わっている。心を静かに保ち続ける、欲望や迷い執われから解き放たれる、ひたすら修行に励む、これらのことに完璧であり、未曾有の法を身につけ、さまざまな法の解き明かしを行っている。

舍利弗よ。

如来・勝れた人・正しくあますところなくさとつた人びとは、大いなる、未曾有の、不可思議の法を、獲得した人びとである。

舍利弗よ。

これで、十分であろう。

舍利弗よ。

如来・勝れた人・正しくあますところなくさとつた人びとは、最上の、未曾有の法を獲得している人びとである。

舍利弗よ。

如来・仏の知るところのもろもろの法、そのもろもろの法を、説き示し得るのは、如来を聞いて他にはいない。

舍利弗よ。

如来こそが、一切の法を、説き示すのである。

ありとある法を、ことごとく知る者は、如来を聞いて他には居ない。

すべての存在や事の在り方はどうなっているのか、つまり、す

べての存在や事の在り方はどのようなように在るのか、すべての存在や事の在り方はどのように見えるのか、すべての存在や事の在り方にはどのような特質があるのか、すべての存在や事の在り方の本質は何か。

すなわち、すべての存在や事の在り方の何たるか、つまり、その在り方、像、その特質、それ自体の如何なるものかが、如来には、明らかに、見えているのである」

さて、そのとき、お釈迦さまは、その意味をば、より一層明らかにせんと、次のごとき詩を、詩われたのでありました。

仏たちの力とは  
解き放たれた心とは  
確固たる信念とは  
何であるか  
どのようなものであるか  
また  
仏の もろもろの法とは  
どのようなものであるか  
何人たりとも  
知ることができない

その昔  
数知れぬ仏陀たちのもと  
深遠にして  
表わし難く  
判ずべくもない  
巡り会い難き  
修行が  
およそ仏なるものにより  
行われた

思量を遙かに超えた  
気の遠くなるほどの永い永い歲月  
修行を重ねた  
その果てに何を見たか  
間違いなく  
われ・釈迦牟尼仏は  
見た  
その果の実りを  
さどりの座において

われ・釈迦牟尼仏と  
われ以外にも  
世の指導者・仏たちには  
判っている  
ソレが  
どのように在るのか  
どのように見えるのか  
なぜ そうであるのかを

ソレを  
示すことはできない  
ソレについて  
話しあうこともできない  
そのようなことのできる  
人間は  
この世には  
存在しない

彼らに法を示したとして  
その示されたものが  
理解できるであろう  
人間が  
存在しない  
ただし  
もとめる心に立てる  
菩薩たちは  
別である

世間を知り尽くした人・仏の弟子たち  
仏に仕え  
成就者・仏によつて讃えられ  
欲望は消滅し  
輪廻の世界において一生を残すのみの者たち  
彼ら  
声聞の最高位の者たちですら  
勝利者・仏たちの  
智慧の界には  
立ち入ることができない

よしんば  
この全世界が  
舍利弗と等しき者たちによつて  
満たされようとも  
皆で一丸となつて  
考えに考えぬいたところで  
成就者・仏の智慧に到達することは  
間違つても